

心に残る文化財子ども塾 松江市立揖屋小学校

1. 活動の概要

6/25(水)、松江市立揖屋小学校の6年生 54 名とともに、遺跡見学の授業を行いました。当日は東出雲中央公園、山代二子塚古墳、八雲立つ風土記の丘の順番で見学をしました。

東出雲中央公園では、公園内に移設された寺床1号墳とともに揖屋の遺跡について解説を行いました。児童たちは身近な場所に沢山の遺跡があることに驚いている様子でした。遺跡の紹介では、島田池遺跡で出土した須恵器を実際に触れる機会を設けましたが、普段触ることができない貴重な土器を興奮しながら観察している児童が多かったように感じます。

山代二子塚古墳では、古墳の土層見学室やガイダンス施設などを見学しました。土層見学室では日本で唯一古墳内部を観察できることを説明すると大変興味深そうにしています。

その後に訪れた八雲立つ風土記の丘では、展示学習館と岡田山1号墳、復元竪穴住居を見学しました。解説ののち自由見学をしましたが、普段見ることがない埴輪や珍しい出土遺物に、児童たちは目を輝かせていました。岡田山1号墳では石室の中に実際に入る体験を行いました。石室の中はひんやりとして少し怯える児童もいましたが、懐中電灯で照らしながら奥までよく観察をしている様子でした。復元竪穴住居には何人入れるか児童が挑戦するなどして、竪穴住居の広さを体感していました。

見学後、八雲立つ風土記の丘で児童から感想、質問などをしてもらった時間を設けました。「昔の人はすごい技術を持っていたことが分かった。」など、意欲的な感想を聞くことができました。

2. 活動の様子



揖屋にはこんな古墳があったんだ！



須恵器に初めて触った！



たくさんの遺跡があるんだね！



横穴式石室に入ってみよう！

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- 休みの日に家族でいろいろな古墳を見に行きたくなった。
- もっといろいろな時代の暮らしを知りたい。
- 山代二子塚古墳は日本で唯一の断面が見られる古墳と知って胸の高鳴りがおさまらなかった。
- 埴輪を作る過程やほかの遺跡についても詳しく調べていきたい。
- 本物の石室をもっとじっくり見てみたい。
- 山代二子塚古墳では古墳の中を見て、本当に古墳の中に入ったような感じがして心に残った。
- 山代二子塚古墳の石室についてまだわかっていないのがミステリアスで心に残った。
- どうやって大きな古墳を造ったのかがもっと知りたい。
- 小学校の近くにたくさん遺跡があることが驚いた。
- 土器などを触ることができたのが心に残った。

2)担任の先生から…

- 実際に見て、聞いて、学びを深めることができた。
- 出土品を実際にふれることができ、当時の様子を考えることができた。
- 社会科と結びついた内容であり良かった。
- バスを降りてどう動けばいいか迷った場面があり、動きなどをきちんと把握しておく必要がある。

3)埋文センターから

今回は午前中いっぱいを使った活動で暑い中での見学となりましたが、大きなトラブルなく終えることができました。意欲的に意見や感想を述べてくださる児童さんが多く、こちらもよりいっそう解説に力が入りました。今回の見学をきっかけに、地元の歴史に興味を持ってくださるとうれしく思います。